

別紙

第5回ゆいごん大賞「ゆいごん川柳」受賞作品一覧（講評：全日本川柳協会）

大賞

介護した 嫁も立派な 相続人

 風信子 さん
60歳/東京都

講評

民法で相続人は配偶者、子、直系尊属、兄弟姉妹となっています。したがって息子と結婚した女性（嫁）は介護に尽くしても相続人ではありませんでした。民法改正により、2019年7月1日以後、特別寄与料の制度が設けられ、相続人以外の親族で被相続人に対して特別な寄与をした者はその貢献が考慮され、相続人に対して特別寄与料を請求できるようになりました。長年の介護の苦労が法的にも報われますね。

入賞

コロナ禍で 遺言までも オンライン

 岳司 さん
76歳/千葉県

講評

遺言とオンライン。秘密にする遺言の内容をオンラインで公開するのはいかなものかと思われますが、コロナ禍で親族が集まるのが無理な場合はやむを得ない方法かもしれません。

入賞

書いとけと コロナ背を押す 遺言書

 しんちゃん さん
75歳/埼玉県

講評

今回のコロナ禍で誰がいつどこで感染するかわかりません。残された家族のために遺言書を書いておくのも安心のため、家族もそれを望んでいるでしょう。

入賞

遺言は 争族予防 ワクチンだ

 あっちゃん さん
70歳/三重県

講評

家族が争うのを予防するために遺言を書くことはとても大事だと訴えている句。遺言をワクチンと比喻が効いています。

遺贈寄付サポートセンター賞

寄付をした 父の遺影に キスをする

 さごじょう さん
38歳/愛知県

講評

財産分与について揉めるよりもとあっさり世のために寄付をした父。そんなお父さんのような人が増えています。子ども達も立派な父だったと誇らしく、思わず遺影にキスをしました。

佳作

きっかけは コロナ・台風・大地震

 ガイアさん
61歳/神奈川県

使い切れ 遺産は世のため 人のため

 ならのしかたろう さん
55歳/奈良県

20000日 歩んだ妻へ 感謝状

 逆ペリカン さん
38歳/大阪府

タイトルは 遺言じゃなく 感謝状

 さっぱり さん
76歳/大阪府

常日頃 口に出さない 文字を書き

 小次郎
67歳/山口県

<ゆいごん川柳しおり>



※大賞・入賞・遺贈寄付サポートセンター賞に選ばれた5作品は、2021年1月15日より数量限定（無くなり次第終了）で、首都圏、愛知、京都、大阪、兵庫の三省堂書店、紀伊國屋書店、ブックファースト 各店舗（※一部配布していない店舗がございます）にて書店しおりとして配布されます。